

# 曾我地区まちづくり計画書

(令和3年度～令和7年度)

令和3年4月

曾我地区まちづくり協議会

## 1. まちづくり計画の目的

社会環境が大きく変化する中、この豊かな地域を次世代に引き継ぎ、さらに住みよい地域を創造していくために、私たち地域住民自らで、あるべき地域の将来像を描き、その将来像の実現に向かって自らが取り組むべき活動の方針、内容などを定めた計画を策定します。

## 2. 計画の進め方

地域の将来像の実現に向けて、具体的事業を盛り込んだ5ヶ年を期間とする計画を策定し、その計画に基づき単年度事業を実施します。

毎年度、事業の実施状況を評価し、当初の事業目的が達成されているかなどの検証を行い、次年度以降の事業展開に生かしていきます。

また、計画期満了時に計画そのものの評価を行い、新たな地域課題の抽出も含め、次の計画に反映させます。

## 3. 計画年度

計画期間は令和3年度から7年度までの5年間とします。

## 4. 曽我地区の現状把握

### (1) 曽我地区の概況

曽我地区は掛川市の西端に位置し、最近では工場などの進出があり、にぎわいを見せています。また曽我地区は掛川市内のすべての河川の集合場所となっており、水害に対する対策が必要不可欠であります。地区の特徴、東海道の松並木を有する伝統ある地域と小笠山総合運動公園を持つ開発された地域、そして田や茶園からなる地域で成り立っています。その間を国道一号線、東名高速道路、東海道線、東海道新幹線と日本の大動脈が通っています。近年は東海道線愛野駅の開設により、都市化された袋井市と隣接する地域です。

### (2) 住民が考える主な地域の魅力と課題

令和2年度末、まちづくり協議会役員により、前5ヶ年計画の実施状況調査表で当初の事業目的が達成されているかなどの検証を行い、今後の課題として下記の事柄があげられました。

#### ○魅力

- ・山や川、田園や茶園など、自然環境が豊かである。
- ・子供たちの明るい元気な挨拶がある。
- ・静岡県運動公園（エコパ）に近く様々な活用できる。
- ・子供からお年寄りまで温和で連携がある。
- ・地区内の行事には多くの人の参加がある。

#### ○課題

- ・子供たちの遊び場（公園など）がない。
- ・水害対策が不十分で危険である。
- ・耕作放棄地が多い。
- ・通過車両が多く、歩行者の安全が損なわれる。
- ・高齢者が多く、交通弱者も多い。

## 5. 将来の目標

### ○将来像

#### **住みたいまち曾我、ずっと住んでいたいまち曾我**

地区住民同士が支えあいと役立ちあいによる、優しさ溢れる地域の実現を目指します。

### ○分野別の主要目標

[ 地域振興 ] あいさつと笑顔があふれるまち曾我

[ 防災防犯 ] 安全・安心で住みよいまち曾我

[ 健康福祉 ] 健康長寿で役立ちあい支えあうまち曾我

[ 教育文化 ] 学び高め合い伝え合うまち曾我

[ 環境美化 ] 美しい環境で安らぎのあるまち曾我

5ヶ年計画表（令和3年度～令和7年度）

	主要目標	課題	活動方針（目指す方向）	活動目標	取り組む活動計画（案）	
地域振興	挨拶と笑顔があふれるまち曾我	地域のために全ての世代が協調してまちづくりに取り組む。	①ふれあいの場造りによる心豊かなまちづくり	子供・女性や若い世帯の人たちによりイベントの企画立案。	朝市・フリーマーケットの運営	J A 掛川市曾我支所跡地
			②地域の農業の活性化	農業の伝承 農地保全の促進 耕作放棄地の消滅	農業の楽しさ体験農場の開設 農業の有する多面的機能の発揮に関する活動 市民農園・貸農園等の推奨	元曾我幼稚園西側圃場、各地区 曾我美農里会の設立（水耕田対象）
			③挨拶で築く明るいまちづくり	「子供からの待ちの体制の声掛けを脱却し、大人から子供達へ積極的な挨拶、声掛けの実施」	定期的な挨拶啓蒙活動実施	各地区
防災防犯	安全・安心で住みよいまち曾我	大規模災害、水害発生時の対応など緊急時の対応を確立。	①災害に強いまちづくり	水害に負けない地区独自の防災体制を強化・確立	逆川堤防の補強工事	掛川市土木課・県土木との連携
				防災機器の拡充	高性能ドローンの導入 ドローン操縦者の増員	まちづくり協議会役員の中から1名～2名資格者確保
				地区内各河川の現状把握	ドローンによる上空からの撮影・検証	東山沢・西山沢川の川上～川下まで撮影
			②防災意識向上による安心なまちづくり	防災連絡会の開催	大規模災害等の研修	二回開催
			③交通事故の無い安全なまちづくり	青パトの更なる充実 交通安全意識の高揚 地区内交通安全、防犯などの啓発	青パト隊員の確保・講習会の実施 各部落での防犯等の講演会実施（寸劇等での啓発）	防災センターの見学 総会・いきいきサロン等での講演会
健康福祉	健康長寿で役立ちあい支えあうまち曾我	一人暮らしや外出ができない老人が増えている。  交流の場所が少ない。参加しやすい交流の場所づくりが必要。	①いきいき健康づくり	食生活改善の啓蒙活動の実施 健康維持の保健指導の活用 小規模ないきいきサロンの実施	区単位など小規模ないきいきサロンの定例開催	
			②支え合いの仲間づくり	独居高齢者、老々介護者など気にかかる高齢者の声かけ・見守り	定期的な訪問活動の実施	
教育文化	学び高め合い伝え合うまち曾我	子供たちの人材育成、若者たちの地域活動への参加。  高齢者の地域に貢献する人材の発掘	①子供たちの笑顔あふれるまちづくり	子供や大人の交流する遊び広場の維持管理、子供たちが自ら行動ができるサークルの推奨	こっこクラブ等への活動助成	
			②地域の歴史・文化を学び伝えるまちづくり	地域の歴史・文化の伝承・講演会の開催	地域の名所名刹を活用した地域の文化の継承	曾我地区誌の作成
環境美化	美しい環境で安らぎのあるまち曾我	自然と共存する清らかなせせらぎなど良好な水環境を守る。  ごみの不法投棄でまちの環境が悪化。	①水質向上・汚染のないまちづくり	年4回、水質検査状況を実施 定点観察地以外の検査を開始する	水質検査実施箇所を拡大し、現検査箇所との対比。各年度毎の検査比較公表して悪化を防ぐ。	
			②より良い環境のまちづくり	生活排水などに関心を持つ 農業の使用の削減 田圃や小川に小魚が住む水質	ウォーキング等をしている地域の皆さんと連携を取り状況の変化等の情報収集などをして対策を講じていく。	
			③ごみの不法投棄のないまちづくり	ごみ回収日の有効活用によりごみゼロを目指す ごみの不法投棄、草刈り未実施、汚染などの監視	各地区による定期的な清掃活動実施 監視カメラの設置（ダミーカメラも含む） 各地区による定期的な見回り実施	